

## 1. 官民連携の強化

- 「テレコムアイザック官民協議会」の活用  
総務省、(独)情報通信研究機構、テレコムアイザック推進会議の3者の実務者級による日常的な情報共有を実施

## 2. 研究開発の強化

- サイバー攻撃の観測情報を収集するnicterの公開
- 出口対策技術の開発

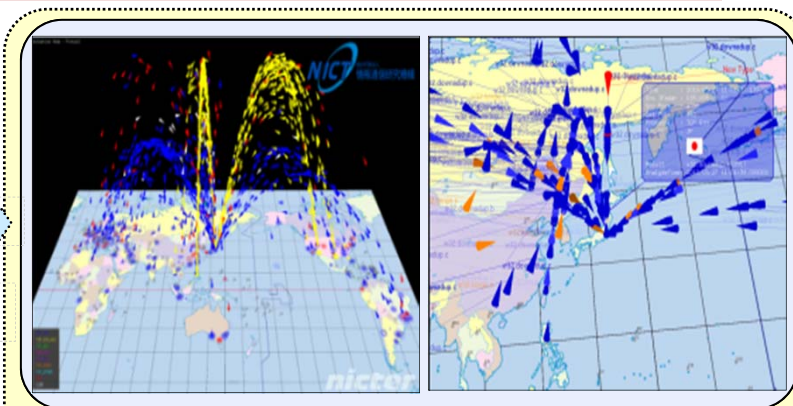
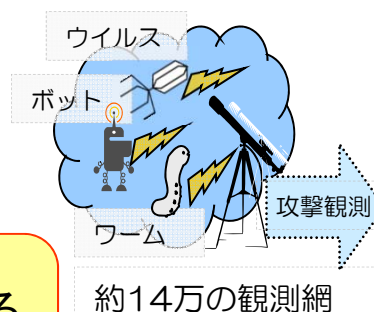
## 3. 国際連携の強化

- サイバー攻撃発生の予知・即応を可能とする技術の研究開発に関する諸外国との連携

## 4. 地方公共団体における対策の強化

- 「災害に強い電子自治体に関する研究会」の開催
- 「地方公共団体におけるICT部門の業務継続計画(BCP)策定に関するガイドライン」の見直しを検討  
東日本大震災のような大災害が発生した場合を含めた、地方公共団体の情報セキュリティ対策及び業務継続の確保について検討

n i c t e rによるリアルタイムネットワーク観測・分析



【可視化】

# サイバー空間に関する主な国際会議の参加者と議題・テーマ

- 各国は、首脳・閣僚が自らサイバー空間に関する国際会議に積極的に参加して、戦略的に情報発信。
- 議題・テーマは、「情報セキュリティ」のほか、「情報の自由な流通」「人権(表現の自由)」「イノベーション」「プライバシー」「知的財産権保護」など、多岐に渡っている。

主な会議	各国の主な参加者 <small>(各省は東京からの参加者のみ)</small>	主な議題・テーマ <small>(下線はセキュリティ関係)</small>
G8ドービルサミット ＜2011年5月/仏ドービル＞	G8各国首脳 日本:菅総理(当時)	(首脳宣言の第2項目「インターネット」) ・自由、民主主義、人権(表現の自由) ・イノベーション、経済成長、雇用 ・プライバシー保護、知的財産権、 <u>セキュリティ</u>
New World 2.0 (インターネット大臣級セミナー) ＜2011年10月/仏パリ＞ (仏政府主催)	仏:ベッソン産業・エネルギー・デジタル経済担当相 英:ベイジー文化・通信・創造産業担当相 その他:米電気通信庁長官、豪通信・デジタルエコノミー相、露通信メディア相、ブラジル通信相、ケニア通信相 日本:山川総務審議官(総務省)	・インターネットと民主主義 ・イノベーション ・プライバシー保護 ・デジタルディバイド解消 ・ネットワークセキュリティの確保
ロンドン国際サイバー会議 ＜2011年11月/英ロンドン＞ (英政府主催)	英:キャメロン首相、ヘーグ外相、米:バイデン副大統領 その他:蘭外相、スウェーデン外相、インド通信相、露通信メディア相、欧州委副委員長 日本:山根外務副大臣、内閣官房(安危、NISC)、警察庁、総務省、経産省、防衛省	・経済成長と開発 ・社会的便益 ・国際安全保障 ・ <u>サイバー犯罪への取組</u> ・安全で信頼のおけるアクセスの確保
アヴィニオン文化サミット2011 ＜2011年11月/仏アヴィニオン＞ (仏政府主催)	仏:サルコジ大統領、ミッテラン文化・通信相 その他:スウェーデン司法相、欧州委副委員長 日本:近藤文化庁長官、総務省	・インターネット上の知的財産権の保護
インターネットの自由閣僚会合 ＜2011年12月/蘭ハーグ＞ (オランダ政府主催)	蘭:ローゼンタール外相、米:クリントン国務長官 その他:スウェーデン外相、エストニア外相、欧州委副委員長、ケニア情報通信相、ガーナ通信相 日本:肥塚駐蘭大使、総務省	・インターネット上の人権保護と政府の役割 ・人権抑圧国家等で活動するブロガーの支援 ・インターネットの自由のための企業責任